

「役員挨拶」

高槻の人口が三十数万余名と、昔は唯一大阪医科大学のある町として知る人ぞ知ると言われた風な町でしたが、中核都市になり市民も積極的に住環境の向上を望むようになり、少しずつ住民としての自覚に目覚めて社教や福祉の行政に対しても関心を示す様になって参りました。

若い世代もマンシオン化(私個人としましては自然の景観が失われて行きつつあるのに異議有りますが)に依り、増えてきて、最早奥本市長の世代ではなくなりつつあり、世代交代の時期に来ていると考えております。

この度立ち上げた「VG槻輪」を世間にアピールしていかねばと、然し大げさでなく足元を見つめて、そこそ個から衆にと徐々に広めて行けば良いのではないかと、つまり細く長く持続せねばなにも価値がありませんもの。

私なりに会の創設に当たつての挨拶をいたします。

記

第四回「まちづくり塾」の講習を受講し、我がまち高槻に就いて多岐に亘つてもっと知り度いと言う観念のもとに発足し「VG槻輪(きりん)」と名付けました。

先ず、住民夫々出生地がいずれであれ、高槻に移住して数十年、或いは先祖代々の方もあれば、数年の方も居られますが、現住所が古里であるとの思いで充実した愛すべき町として向上して行き度い。

その為に個々の住居の周辺をしっかりと把握し、良き点は益々充実させ、不足の点は住民と行政が一体となり向上させて行こうと熱望しております。

ご賛同を得る事を心から期待致しております。

以上

十一月活動報告

一、環境美化推進デー参加(十一月二十八日(日))

当日は天気も良く、多くの団体、地区の方、及び一般参加の方もお子さま連れで参加されています。これは市民の環境美化への理解が深まっていていけると感じます。ゴミ収集は、参加者が多いので、収集時から、一般ゴミと資源ごみ(缶など)に分別収集出来ました。また駅前周辺の広くて多くのゴミには個人では出来ない機動性が発揮されました。「広報たかつき」によりまずと、三万一千人の参加があったとのこと。集団の解散後は、住宅地区での清掃を行い有意義な推進デーであった。

次回も、VG槻輪会員は各地区の清掃に参加しましょう。

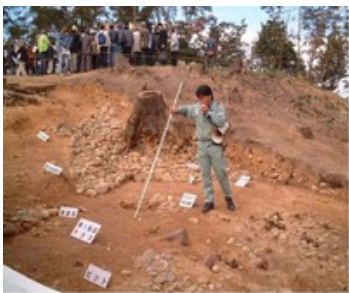
二、關鷄山(つげやま)古墳 第3次発掘調査現地説明会
に出席(十一月二十九日(日))

關鷄野(つげの)神社の裏山にある「關鷄山(つげやま)古墳」はかなり以前からその存在が知られていたが、宅地造成計画のため、二千二年四月から発掘調査が行われていた。

關鷄山古墳は日本でも最古の古墳の一つであり未破壊・未盗掘の極めて貴重な古墳であることから、専門家による委員会を設置し、発掘方法、保存処理方法など検討する方針といわれている。

左の写真は、係員の一トレンチ(前方部と後円部の付け根部)の説明風景です。

今回の調査で、前方部と後円部ともに二段築成であることが確定した。今後は、高槻の大きな宝として保存されることを望みます。



他方、邪馬台国真相解明の鍵を握る弥生時代古墳時代の重要史跡が次々と破壊されようとしています。茨木市の尾勝山古墳は、住宅地に変わるうとしています。

高槻市西の原古墳は、墓地建設が進められています。遺跡は国民の文化遺産だと思います。十分な調査をした上での開発を希望します。

三、たかつき市民フォーラム「市民参加懇話会

中間報告」に参加。(十二月四日(土))

第一部 市民参加懇話会 中間報告

VG槻輪のこれからの活動とも非常に関係があり有意義でした。

第二部 私の市民参加体験レポート

参加の動機はいろいろ、グループでは上下の関係なく、自由で活発な意見交換が出来る。高槻が好き。

第三部 ワークショップ

テーマ:①高槻のよいところは? ②高槻の悪いところは? ③高槻をよくするには? ④市民参加や「協働」で問題を解決するなら?

参加者は自由な議論をし結果発表を行う。

四、街かど安全点検体験ウォークラリーに参加
十二月三日(金)から九日(木)までは、「障害者週間」です。

その行事の一端として「街かど安全点検体験ウォークラリー」が十二月五日午前【なくそうバリア・ふやそう心のバリアフリー】をスローガンに障害のある人とボランティアがグループで市内の街かどを点検しながらの体験ウォークラリーが行われました。

今までは自転車に乗って通り過ぎていて、気が付かなかつたと言うか、見ていながら見えてなかつた事の余りに多かつた事に驚いてしまった。

歩道に乗り上げての違法駐車、商品或いは看板を、歩道上にずつとはみ出し並べているもの、溝の蓋が途中で途切れていたりして危うく踏み外しかねない物等、健常者でさえ危険と感じるのに、まして視覚障害者や車椅子の方にとつてどんなに歩き辛い道路になっている事かと痛感しました。

毎年ウォークラリーで指摘されているであろう事の筈が、又も同じ事の繰り返しに、行政は何をしているのだという想いと共に、市民としても何かやるべき事が有るのでは...と思えました。